

2011年度 国際交流基金賞受賞記念コンサート

2011年10月7日(金) 開場 18:30 開演 19:00 **トッパンホール** チケット料金 2500円 (全席自由) / 学生 1500円

●チケット取扱い/トッパンホールチケットセンター TEL 03-5840-2222 <http://www.toppanhall.com/> e+ (イープラス) <http://zplus.jp>

●主催/国際交流基金 <http://www.jpf.go.jp> ●後援/日本現代音楽協会 ●協力/トッパンホール

グラミー賞ノミネート4回、ラテン・アメリカを代表する 打楽器アンサンブル、メキシコより待望の来日!!

October 7 (Fri.) Start 19:00 (doors open at 18:30) TOPPAN HALL ※Admission: ¥2,500 Students ¥1,500 / Prior booking required

Booking: TOPPAN HALL TICKET CENTER TEL 03-5840-2222 <http://www.toppanhall.com/> e+ <http://zplus.jp>

TAMBUCO PERCUSSION ENSEMBLE

タンブッコ パーカッション アンサンブル

Program

プリズム

Prismas (1999)

クラウディア・カルデロン

Claudia Calderón (1960-)

風のリズム構造 I

Rhythmic Structure of the Wind I (2009)

ラウル・トゥドン

Raúl Tudón (1961-)

メトロ・チャバカーノ

Metro Chabacano (rev. 2005)

ハビエル・アルバレス

Javier Alvarez (1956-)

石の歌、石の踊り

Stone Song, Stone Dance (2000)

ポール・バーカー

Paul Barker (1956-)

オルガニカ

Organika (2008)

マリア・グラニージョ

María Granillo (1962-)

※日本初演 <音音IV>

~尺八、二十絃箏、打楽器群の為に~

※Japan premiere

SOUND SOUND IV

for Shakuhachi, 20-stringed Koto, and Percussions (2005)

松尾 祐孝

Masataka Matsuo (1959-)

エマトフォニア

Hematofonía (2008)

エクトル・インファンソン

Héctor Infanzón (1958-)

マリンバ・スピリチュアル

Marimba Spiritual (1983-84)

三木 稔

Minoru Miki (1930-)

出演: Tambuco Percussion Ensemble

リカルド・
ガジャルド

Ricardo Gallardo,
Artistic Director

アルフレッド・
プリンガス

Alfredo Bringas

ミゲル・
ゴンサレス

Miguel González

ラウル・
トゥドン

Raúl Tudón

共演:

吉村七重
(二十絃箏)

Nanae Yoshimura
(20-stringed Koto)

三橋貴風
(尺八)

Kifu Mitsuhashi
(Shakuhachi)



JAPAN FOUNDATION



タンブッコ、その魅力

武満徹、石井眞木、近藤譲など日本の現代音楽を、メキシコはもとより世界に発信し続けてきたタンブッコ。本公演では、三木稔の名曲「マリンバ・スピリチュアル」を披露する。三木作品他のプログラム7曲は、すべてタンブッコのために書かれた作品で構成される。レパートリーは120曲を超え、その3分の1が委嘱作品で占められているという、このアンサンブルにいかにも相応しい。ここでとりあげる作曲家たちは、中南米、ヨーロッパ、日本と国籍も様々で、いずれも1950年代後半から60年代生まれ。松尾祐孝作曲「音 音 IV ~尺八、二十絃箏、打楽器群の為に~」(2005年セルバンティーノ国際芸術祭委嘱作品)は、今回が日本初演となる。

●タンブッコ パーカッション アンサンブル

Tambuco Percussion Ensemble

タンブッコは、1993年、4人の傑出したメキシコ人打楽器奏者により結成された。以来18年、数々の公演とレコーディングにおいて打楽器作品の地平を拓く膨大なレパートリーを展開、独自のプログラムは幅広く聴衆の耳を魅了し、世界屈指の打楽器アンサンブルとしての高い評価を確立している。

最優秀クラシック・アルバム賞を含むグラミー賞への4回のノミネート、あるいは内外から多数の栄誉を授与されてきた実績も示唆するとおり、タンブッコはフロントランナーとして走り続けてきた。一つのスタイルにとどまることを拒む彼らの音楽は多彩で、構造主義的な打楽器作品からエスニックなドラム・ピース、実験的の前衛音楽に至るまでを広く柔軟に含み込む。しかし常に変わらないのは、その完璧なまでの名人芸と他では聴くことのできない芸術性豊かなパフォーマンスである。

これまでにメキシコ国内各地はもとよりニューヨーク、東京、ロンドン、パリ、ベルリン等の主要都市をはじめスペイン、ポルトガル、イタリア、エジプト、レバノン、オーストラリア、中南米各国等、五大洲すべてで公演を行っている。またタンブッコが大切にするコラボレーション活動としては、マリンバの安倍圭子、元ボリスのドラマー・スチュワート・コーブランド、二十絃箏の吉村七重、尺八の三橋貴風、クロノス・カルテット、マイケル・ナイマン・バンド、メキシコ内外のオーケストラ等との協働多数。

これまでに8枚のCDをリリースしている。 <http://www.tambuco.org>

Founded in 1993 by four distinguished Mexican musicians with 18 years of international concerts and the recording of an original repertoire, Tambuco Percussion Ensemble has celebrated an acclaimed career, establishing itself among the finest percussion ensemble today. Audiences throughout the world have enjoyed the musicianship of Tambuco in programs devoted exclusively to show a vast universe of percussion music.

Four-time GRAMMY Nominees including Best Classical Album and being awarded with many distinctions and prizes from cultural organizations in Mexico and abroad, Tambuco is ranked among the finest and most innovative in the world. These four musicians refuse to be tied down to one style, with a repertoire ranging from structuralist percussion music to a wide range of ethnic drum music and avant-garde sound interpretation. The one constant is their desire for perfection and unique, virtuoso performance.

Tambuco has offered concerts in five continents. They have performed in New York, London, Paris and Berlin, plus in Spain, Portugal, Italy, Egypt, Lebanon, Australia, Colombia, Brazil, Uruguay and Argentina, as well as practically all of Mexico's concert halls. One of Tambuco's most important activities is collaboration. As solo ensemble, Tambuco has performed and recorded with musicians, ensembles and orchestras such as Keiko Abe, Stewart Copeland, Nanae Yoshimura, Kifu Mitsuhashi, Kronos Quartet, the Michael Nyman Band, Orchestras in México and abroad, amongst many, many others.

To date, Tambuco has recorded eight CDs.

共演

Guest Soloists

●吉村七重 (二十絃箏)

Nanae Yoshimura (20-stringed Koto)



従来の古典箏曲と共に1971年から新しい表現を求めて二十絃箏を手掛ける日本を代表する演奏家として活躍。この楽器のスペシャリストとして、独奏曲からオーケストラとの協奏曲まで多くの作曲家との共同作業を展開し100曲を超える作品を初演。世界各地の音楽祭等にソリストとして招聘され、日本文化の紹介、国際交流に多大な貢献を果たしている。文化庁芸術祭賞('92)、第3回出光音楽賞('93)、第1回日本伝統文化振興賞('94)、中島健蔵音楽賞('99)等受賞。2010年には第19回朝日現代音楽賞と平成21年度芸術選奨文部科学大臣賞に輝く。

「日本現代箏曲研究会」代表。

●三橋貴風 (尺八)

Kifu Mitsuhashi (Shakuhachi)



尺八琴古流を佐々木操風に、普及尺八古典本曲を岡本竹外に師事。1980年「第一回リサイタル」により文化庁芸術祭優秀賞。以降、大阪文化祭賞('81)、文化庁芸術祭賞('89)、中島健蔵音楽賞('92)、「尺八本曲 空間曼陀羅 恨(ハツ)の軌跡」による文化庁芸術祭大賞('09)、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞('10)等受賞歴多数。ケント・ナガノ、大野和土ら世界的指揮者の信頼も厚く、内外の楽団から度々なる招聘を受けてNYカーネギーホール、パリ・シャトレ座、ベルリン・シュターツオパー等、世界各地で公演、海外でのリサイタルも120回を超える。

現在、琴古流尺八大師範。琴古流尺八貴風会会長。

アクセス

Access



会場 トッパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3

飯田橋駅

(JR総武線) 東口 出口より徒歩13分
(東京メトロ有楽町線・東西線・南北線・都営地下鉄大江戸線) B1出口より徒歩13分

江戸川橋駅

(東京メトロ有楽町線) 4番出口より徒歩8分

後楽園駅

(東京メトロ丸の内線・南北線) 1番出口より徒歩10分

【下記チケット取扱い先にて発売中】

トッパンホールチケットセンター
TEL 03-5840-2222
<http://www.toppanhall.com/>

e+(イープラス)
<http://eplus.jp>
(パソコン・携帯)

※やむを得ず、曲目、出演者などに変更が生じる場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。

※学生券をご購入の方は、入場時、学生証をご提示いただきます。 ※未就学児の入場はご遠慮願います。

【お問い合わせ】

国際交流基金賞事務局
(株式会社ステージ内)
TEL 03-5966-5784

国際交流基金賞とは

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は1973年以來毎年、学術・芸術など文化活動を通じて日本と海外の相互理解の促進に顕著な貢献のあった個人または団体に対し、「国際交流基金賞」を授賞しています。このたびは、2011年度を受賞者が決定し、10月に授賞式が行われます。この受賞を記念して、本コンサートを開催します。

www.jpf.go.jp/j/about/award/



JAPAN FOUNDATION